

2020(令和2)年5月8日

## スタディサプリ

休校期間中の生徒諸君の学力保障のために、兵庫県教育委員会の費用援助を受け、リクルート社の運営している「スタディサプリ」を本校の全学年に導入します！これは自宅でPC、またはスマートフォンやタブレット端末を用いて、自由な時間に学びたい科目の單元ごとに、個人のレベルに合わせて1コマ15分前後の講義が受けられる、というものです。各人あてに「団体会員コード」と「生徒操作マニュアル」を送付しますので、各自でset up のうえ、視聴できます。是非とも積極的に活用してもらいたいですね！ただし、視聴の際は適切な距離を保ち、目を酷使しすぎないように注意しましょう。

\*上記のような機器が使えない(インターネット環境にない)場合、ご連絡ください(応相談)。

## 各教科より(課題の指示)

\*実際の校時に沿って計画的かつ意欲的に取り組みなさい。

本校の校時表が入学のしおり第1ページに示されています。1時間目は8:55~9:45の50分間。10分の休憩後2時間目が開始…4時間目終了は12:45。5時間目は13:30からで、15:20に6時間目は終了です。臨時休校期間中は、今後のためにもこの時程に沿って規則正しく生活し、学習その他の活動を行うよう指示します。

各教科からの指示・連絡は裏面にまとめてありますので、よく読んで適正に取り組み始めましょう！

## 「手帳(imamirai 2020)」を積極的に活用しよう

今後、学校生活で必携のアイテムです。先生からの指示・連絡事項だけでなく、なすべきことをいつまでにどのように行うか、振り返ってどうだったか、素早く書き取り、皆さんの良きパートナーにしてください。

☆☆手帳を活用する意義:(使い方は自由だが1.①~11.①を参考にするとよいでしょう)

日常生活の連絡帳としてはもちろん、個人の予定なども記録し続ける。日々立ち止まって感想や反省点を記入することにより自分自身を振り返り、客観的に(第3者の視点より)自分を見直す。

「過去のあの時」と「今・現在」を比較して自己の向上につなげる。

☆☆期待できること:

日々の予定を見直す、または意識するようになり、より積極的に学ぼうという姿勢が高まる。

学力テストで数字化されない「非認知能力(具体的には、自分と向き合う力、自分を高める力、他者とつながる力のこと)」をつける。

手帳に記入することがごく普通のこととして実践できるよう、それを活用できるように願っています！

## その他送付物

- ・洗って使える！文部科学省からの布製マスク(1枚)
- ・冊子3種 (「すぐにできる5つのこと」/「高校生活充実ワークブック」/「高校生活スタート号」)
  - \*何かとお役に立つ情報がありますよ…ぜひご一読を。
- ・「部活動紹介」

## 学年団から皆さんへ ～今回は6組担任 山本より～

私はこれまで平日の日中、家にいることが多かった時期が三回ある。一回目は浪人時代、二回目は大学院時代、三回目はある特定の公務員を目指していた時期。とくに三回目は社会人で、フル労働からパート労働に自ら切り替えて、給料よりも勉強時間確保を優先した。稼ぎは4分の1になり貯金が減っていく。ときどき「なぜ学生時代に時間が一杯あったのに、目標を決めて動かなかったのか」と後悔した。

ことわざに「時は金なり」というものがある。時間はお金と同じくらい価値があるという意味だ。目標が明確にあり、その目標を達成する機会が近づくほど、このことわざを実感する。皆さんも高校入試の日が近づくほど「もっと時間があれば」と実感したと思う。

いま休校中で時間がある状態だ。その時間をどうするか。今すぐ高校卒業後の進路目標を決めることは難しいが、目標が決まったときに自分の力を高めておけば、達成できる可能性も高くなる。そこで、まずは学校の課題を毎日少しずつ行い、必ず仕上げる。課題内容だけでなく勉強する習慣を継続することが大事である。学校が再開時、そこで支障なく過ごすためにも必要であり、また今後、自分の進路が明確になったときに進んでいくためにも必要になってくる。自分で計画的に勉強できるというのは、一つの能力である。その能力を発揮できるようにしておこう。

加えて中学校の復習をする。スタディサプリには英語と数学で「中学総復習」という講座もある。とくに英語は高校三年間に授業があり、大学受験では文系・理系関係なく必要になってくる。中学校の先生とは違う角度から復習するのもありだろう。

最後に必ず皆さんにやってほしいことがある。それは家事だ。家庭生活上で掃除・洗濯などは絶対にしていかなければならない。それを親にやってもらっているならば、あなた自身がときにはやってほしい。将来、皆さんは親から自立して生きていく。家事ができることが自立の第一歩だ。

## おまけ・・・私の休日の楽しみ方(ステイホーム編)

私は昨年から落語・講談の鑑賞が趣味になった。落語も講談も、座布団に座りながら、話術と上半身の動きだけで、聴いている人に想像させ、笑ったり感動させたりする。高校生のときは興味がなかったが、教卓の前で立って授業をする立場になり、落語家や講談師の凄さがよくわかるとともに、面白さもわかった。

現在、外出自粛のため、落語や講談の公演も中止になっている。そのなかで、私を落語の世界と講談の世界に引き込んだ一級の落語家・講談師が、youtubeでチャンネルをつくり、無料配信を行っている。ステイホームの中で休日に彼らの落語・講談を視聴して楽しんでいる。そこで皆さんにも紹介する。お二方とも「チケットの取れない」とつく人気者で、ときどきテレビで登場することもある。

### 春風亭一之輔 「春風亭一之輔チャンネル」

⇒落語は小難しいと思っていたが、わかりやすくしたり、面白い話を付け加えたりして、楽しめるようにしている。その人となりを知ったら、落語の前の話(まくら)も楽しくなる。10作品をアップしている。

### 神田伯山 「神田伯山ティービー」

⇒昨年から毒舌キャラとしてメディアの露出も増えてきている。私は2018年に、「ENGEIグランドスラム」で彼のネタに聴き入ってしまい、笑いでない面白さというのを実感できた。チャンネルでは「畦倉重四郎」という殺人鬼の話(エグイかも)と「中村仲蔵」(オススメ)、あと本人が作成した新作講談をアップしている。最初は、字幕で見たらいいと思う。

現代はコミュニケーション力が大事とよく言われる。コミュニケーション自体は相手とのやりとりで成り立つが、語るという部分では、これらの落語家や講談師から学ぶことは多いだろう。